

2005年度

# 事業報告書

2005(平成17)年4月1日

2006(平成18)年3月31日

## 第一部 西南女学院の概況

1. 法人の沿革及び設置する学校の概要	...	1
2. 主要行事	...	2
3. 宗教教育活動	...	3
4. 学生・生徒・園児	...	7
(1)志願者数 (2)在籍数 (3)卒業者数		
5. 役員・評議員	...	9
6. 教職員組織	...	9
(1)教職員数 (2)組織図		
7. 理事会議案及び決議	...	11

## 第二部 財 務

主な2005年度予算の執行状況	...	14
(1)資金収支計算 (2)消費収支計算 (3)貸借対照表		
(4)学生数・財務比率などの推移		

学校法人西南女学院

# 第一部

## 西南女学院の概況

## 1. 沿革及び設置する学校の概要

学校法人の沿革	1922(大正11)年	3月	西南女学院設立認可(5年制高等女学校)
	1938(昭和13)年	4月	財団法人西南女学院設立認可
	1946(昭和21)年	3月	西南女学院専門学校設置認可(英語科・生活科)
	1947(昭和22)年	4月	学制改革により西南女学院中学校設置認可
	1948(昭和23)年	3月	学制改革により西南女学院高等学校設置認可
	1950(昭和25)年	3月	西南女学院短期大学設置認可(英語科・家政科)
	1951(昭和26)年	2月	学校法人西南女学院設立認可
	1952(昭和27)年	2月	西南女学院幼稚園設置認可
	1958(昭和33)年	1月	西南女学院短期大学保育科設置認可
	1971(昭和46)年	1月	西南女学院短期大学食物栄養科設置認可
	1993(平成5)年	12月	西南女学院大学設置認可(保健福祉学部)
	2001(平成13)年	8月	西南女学院大学保健福祉学部栄養学科設置認可
	2001(平成13)年	12月	西南女学院大学人文学部人文学科設置認可
	2002(平成14)年	4月	西南女学院短期大学生活創造学科(家政科)に名称変更
	2002(平成14)年	4月	西南女学院短期大学英语科、食物栄養科改組転換
	2003(平成15)年	4月	西南女学院短期大学英语科、食物栄養科廃止
	2004(平成16)年	4月	西南女学院短期大学を西南女学院大学短期大学部に名称変更
	2004(平成16)年	4月	西南女学院短期大学附属シオン山幼稚園を西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園に名称変更
2005(平成17)年	4月	西南女学院大学人文学部を改組し、西南女学院人文学部英語学科及び観光文化学科設置届出	
設置する学校の概要	西南女学院大学		
	保健福祉学部(1,320) ( )内は収容定員		
	看護学科(340)		
	福祉学科(580)		
	栄養学科(400)		
	人文学部(800)		
人文学科(800)			
2006年4月英語学科(240)、観光文化学科(240)を設置。 人文学科の募集を停止し、在校生の卒業生をまって廃止。			
西南女学院大学短期大学部			
生活創造学科(200)			
保育科(300)			
西南女学院高等学校			
全日制課程(810)			
西南女学院中学校			
全日制課程(630)			
西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園(180)			

2. 主要行事 2005(平成17)年4月1日～2006(平成18)年3月31日

- '05(17). 4. 1 異動職員辞令交付  
           新任職員辞令交付  
           新任職員オリエンテーション
- 4 大学・大学短期大学部入学式
- 6 中学・高校始業式
- 7 中学入学式  
       高校入学・進級式  
       幼稚園始園式
- 8 大学短期大学部前期授業開始
- 11 大学前期授業開始
- 13 幼稚園入園式
- 18 創立83周年記念式
- 21 第1回学院聖書学課
- 5. 17 大学短期大学部ミッションデイ(18日迄)
- 19 大学ミッションデイ
- 20 墓前祈祷会  
       常任理事会
- 24 理事会、評議員会
- 27 後援会役員会、幹事会
- 6. 2 中学ミッションマンス(6/2、6/6、6/16、6/23、6/30)
- 4 同窓会関東支部総会
- 8 高校ミッションウィーク(10日迄)
- 10 同窓会広島支部総会
- 22 後援会役員会、総会、新旧役員幹事懇親会
- 23 第2回学院聖書学課
- 25 中学オープンスクール
- 7. 14 大学短期大学部前期試験(22日迄)
- 11 後援会役員会、幹事会
- 19 幼稚園終園式
- 20 理事会  
       大学前期試験(8月2日迄)  
       中学・高校終業式
- 22 寄附行為変更検討委員会
- 23 大学・大学短期大学部オープンキャンパス
- 8. 1 中高職員研修会
- 3 大学夏期休業(9月9日迄)
- 12 大学短期大学部夏期休業(9月28日迄)
- 25 常任理事会、理事会、評議員会
- 28 大学・大学短期大学部オープンキャンパス
- 9. 1 幼稚園始園式  
       中学・高校始業式
- 9 定年年齢検討委員会
- 11 同窓会大分支部総会
- 16 常任理事会
- 17 中学・高校文化祭
- 28 理事会
- 26 大学後期授業開始
- 29 大学短期大学部後期授業開始
- 10. 1 高校オープンスクール
- 5 高校ミッションマンス(5/5、5/12、5/19、5/24)
- 8 幼稚園運動会  
       同窓会幹事総会
- 20 第3回学院聖書学課  
       キリスト教教育研究会
- 22 大学祭(23日迄)  
       大学・大学短期大学部オープンキャンパス  
       中学オープンスクール
- 26 中学ミッションウィーク(28日迄)
- 29 大学編入学試験

- '05(17). 11. 2 大学編入学試験合格発表
- 8 大学短期大学部ミッションデイ(9日迄)
- 10 大学ミッションデイ
- 11 大学短期大学部一般公募推薦・社会人入試  
       キリスト教教育特別講演会
- 12 大学短期大学部指定校推薦入試
- 15 後援会交流会
- 16 大学短期大学部一般公募推薦・社会人入試合格発表
- 17 西南音楽会
- 18 大学指定校・併設校推薦入試
- 19 大学一般公募推薦・社会人入試
- 25 常任理事会  
       大学推薦・社会人入試合格発表
- 12. 6 理事会、評議員会
- 9 幼稚園クリスマス礼拝
- 15 大学・大学短期大学部クリスマス礼拝
- 17 高校クリスマス礼拝
- 19 幼稚園終園式
- 20 中学クリスマス礼拝
- 22 常任理事会、理事会  
       中学・高校終業式
- 24 大学・大学短期大学部冬期休業(1/11迄)
- '06(18). 1. 9 中学入学試験
- 10 中学・高校始業式
- 11 幼稚園始園式
- 12 大学・大学短期大学部後期授業再開  
       中学入学試験合格発表
- 20 常任理事会、理事会、役員懇親会
- 23 大学後期定期試験(2/7迄)
- 24 高校推薦入学試験
- 26 高校推薦入学試験合格発表
- 31 高校一般入学試験
- 2. 1 大学短期大学部一般前期入学試験
- 2 大学短期大学部後期試験(10日迄)
- 3 大学一般前期入学試験
- 6 高校一般入学試験合格発表
- 7 大学短期大学部一般前期入学試験合格発表
- 10 大学一般前期入学試験合格発表
- 16 学院聖書学課
- 18 幼稚園生活発表会
- 27 常任理事会、理事会
- 3. 1 高校卒業式
- 3 理事会
- 7 大学短期大学部一般後期入学試験
- 10 常任理事会  
       大学短期大学部一般後期入学試験合格発表
- 14 大学一般後期入学試験
- 15 幼稚園卒園式
- 17 大学・大学短期大学部卒業式  
       大学一般後期入学試験合格発表
- 18 中学・高校終業式
- 20 幼稚園終園式
- 22 理事会、評議員会
- 31 退職者辞令交付

### 3. 宗教教育活動（2005年度宗教委員会報告より抜粋）

2005年度は、西南女学院キリスト教センター開設2年目を迎え、安定した活動を遂行することができた。

学生・生徒向けの活動としては、大学と高等学校のハンドベルクワイヤー各々の地域奉仕の定着が見られる外に、教員等による小グループの活動の増加、5月の地域のボランティア活動、大学祭でのキリスト教センター談話室での展示、昨年と同様の大学短期大学部での新生に対する勉強方法の説明会があった。また、全学向け出版物として、「Invitation to Our Christian Center」に加え、キリスト教センターとして「教会案内」を発行した。新しい企画としては、月刊「西南女学院キリスト教センター便り」を発刊した。また、南部バプテスト連盟による寄附・宣教師派遣により設立・発展してきた本学院の歴史に鑑み、全学で米国でのハリケーンの被災者救済の募金を行った。

地域に開かれた主な公開活動としては、キリスト教教育研究会（年2回）を持ち、キリスト教教育特別講演会では速水優先生（聖学院名誉理事長・教授、前東京女子大学理事長、前東洋英和女学院理事長、前日本銀行総裁）を迎え「信仰に生きる～土の器に収めた宝～」と題する講演を頂いた。

#### ・現状と展望

##### （1）全体的総括

2005年度の活動は、「西南女学院の教育の原点に帰ろう」をスローガンに、学院の使命の共有を基本的目標とした。その上で、学生・生徒の相談とモラルの向上、キリスト教への関心の強化、その精神の香りの満ちること、ボランティアの心が養われることに努めた。その一環として、「キリスト教センター便り」を、各校間の情報の広場として発刊した。

2005年度、本学院は、キリスト教関係団体の当番校また会場となった。すなわち、キリスト教学校教育同盟西南地区新任教師オリエンテーション・夏期学校の当番校、また、キリスト教学校教育同盟西南地区協議会第42回大学部会研究会、九州バプテスト大会、日本基督教学会九州部会の会場となった。

また、キリスト教センターの音楽総監督、北陵ボランティア・コーディネーター、北陵リレーション・コーディネーターが新たに加えられたが、今後、キリスト教センターとして取り組む課題としては、ボランティア活動や平和学習を通してのキリスト教精神を学ぶ機会を多くし、地域の諸教会との関係の強化によって、青少年への宣教の取組みを協働していくことである。

##### （2）活動の概括

1. 教職員全体のために定例の活動として、墓前祈祷会、新任オリエンテーション聖書学課（1日）、学院聖書学課（年4回）、日頃の教職員の朝礼拝（毎日）、教職員祈祷会（月1回）を行った。

新任オリエンテーション聖書学課、学院聖書学課等の日程については、例年の大学などの諸会議日程との調整の課題に対し、検討を7月から始め、次年度日程の調整を図った。

2. キリスト教センターの活動としては、生徒・学生のためキャンパスライフ総合的サービスの窓口としての働きがある。昨年同様、大学短期大学部1年生のために、各科2年生による勉強説明会を持った。談話室の利用も定着し、相談件数も増加した。月間聖句を各所に掲示した。

大学ハンドベルクワイヤーの拡大に伴い、3オクターブ1セットを追加購入した。また、日本ハンドベル連盟の研修会に学生2名、卒業生1名と職員指導者が参加した。

3. 学生・教職員両者のための活動として、新たに「薔薇の折り紙・ご一緒に」「ゴスペルの会」「食べものからみた聖書」「しゃべり場」「詩を楽しむ集い」を、また、昨年からの「讚美歌をうたわないかい?」「聖書の会」「English Bible Class」が継続した。

クリスマスツリーの点灯式を大学の正門と中学校・高等学校の正門で持ち、西日本新聞朝刊に紹介された。

地域ボランティア活動「到津こいのぼりまつり」(学生29名、職員2名参加)、「障害のある子どもと一緒に遊んで!」を呼びかけ、映画「マザー・テレサ」鑑賞を推奨した。

4. 近隣諸教会との関係のパイプ的役割を果たす活動としては、生徒・学生の教会訪問プログラム、そのための「教会案内」、キリスト教教育研究会活動を行った。

また、特別伝道集会奉仕の依頼があり、ハンドベルクワイヤーの演奏、エンジェリッククワイヤーの讃美、キリスト教センター音楽総監督の証と讃美、キリスト教センター長の説教というチームで奉仕した。

5. 地域に開かれた活動としては、近隣の福祉作業所のチャイムクワイヤー結成、練習に大学ハンドベルクワイヤーが関わり、定期演奏会の賛助出演もなされた。前述の通り、キリスト教教育研究会、キリスト教教育特別講演会がもたれた。

6. 教職員の主体的な定期的活動として、大学・大学短期大学部教職員の同好会「朝の集い」祈祷会(毎月2回)が行われている。

### (3) 2005年度の全体的評価

1. 2005年度の「西南女学院の教育の原点に帰ろう」というスローガンの内容は、入学式・卒業式の式辞と祝辞、聖書学課、さらに、本部発行の学内報『月報』の「今月の聖句」と「巻頭言」などにより、頻りに取上げられた。「キリスト教センター便り」も、この路線に沿う企画であった。

この関連で、1922年の設立のために募金と寄附を行い、創設者はじめ、多くの宣教師を派遣してきた米国南部バプテスト連盟がハリケーン被災救済支援活動・募金を行っており、それに応える学内募金活動をなしたことは意味が大きい。

このスローガンによる内容を、2006年度は、継続して、さらに定着させることが課題となる。

### 2. キリスト教教育・活動への協力を頂いての広がり

「西南女学院キリスト教センター便り」は、巻頭言を含め、学院の内外の多くの方々の協力を頂いた。卒業生、在学・在校生、教会指導者、同窓会関係者、教育職員、事務職員、寮職員など、非常に広範囲の方々である。日本基督教学会九州部会の「命と倫理」と題するシンポジウムに植田浩司副学長のパネリストとしての協力に見られるように、2005年度におけるキリスト教関係団体の当番校・会場校としての責務は、多くの教職員、若干の学生、各校のアイデアと工夫、献身的な協力によって、はじめて果たすことが出来たものであった。

### 3. 学院におけるボランティア活動等のプログラムの多様性と拡大

地域の町づくり「到津こいのぼり祭」のボランティア活動に29名の学生と2名の職員が参加したが、学院内には様々な機関によってボランティア活動が斡旋・紹介・推進されている。外部からは、受け口がどこか分からない場合に、センターの窓口が問い合わせ易いという声がある。また、教員等による小グループ活動が昨年の3から8に増えたことは、それだけニーズに応える受け皿が拡大したことになる。今後、さらに増加することが望ましい。

### 4. 幼稚園、中学校・高等学校、大学の多様なキリスト教教育における目標の一貫性

チャペルでのミッション強調月間などには、中学校・高等学校の礼拝の奨励に、大学・大学短期大学部の教職員が奉仕している。今後、長期的に「通しプログラム」の企画が検討されるものである。

2005年度 学院年間主題・聖句

年間主題：「西南女学院の原点に帰ろう」

聖句：主であり、師であるわたしがあなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合わなければならない。（ヨハネ13：14）

月主題・聖句（新共同訳）

月	主 題	聖 句
4月	学院の教育の中心：キリストの形ができるまで	ガラテヤ4：19
5月	学院のミッションの原点：顔の覆いを除かれて	コリント3：18
6月	学院の女子教育の原点：女性の地位と機会の平等	ガラテヤ3：28
7月	学院の教職員研修の原点：礼拝第一	詩編125：1
8月	学院の平和教育の原点：平和を実現する人々	マタイ5：9
9月	学院の感恩奉仕の模範 ：順風、逆風、抑圧、自由の時を貫いて	コリント4：18
10月	共に喜ぶことの原点：共に喜び祝う	詩篇126：5
11月	学院の年度計画の土台：キリストの土台上に建てる	コリント3：11
12月	学院のクリスマスの原点：大きな喜び	ルカ2：11
1月	新年：すべての原点：感謝の歌	詩篇100：3
2月	成し遂げる力の源泉：試験、年度末の事務	詩篇145：14
3月	派遣：派遣	民数6：25

聖書学課（全体）

月日	奨励者	主題・聖書	司 会	奏 楽
4/21 (木)	院 長 岸川 洋治	「最も小さい者の一人」 マタイ 25：40	大学宗教主事 鍋倉 勲	短期大学部教授 岩阪 憲和
6/23 (木)	中・高校長 内山 賢次	「西南女学院の関係性」 ～JR宝塚線脱線事故から～ テサロニケ5：16-18	中高宗教主事 山田 光道	中・高教諭 佐野 智江
10/20 (木)	学院宗教主任 古川 敬康	「心を軽くして」 コリント1：18-2：5	大学講師 金丸 英子	幼稚園教諭 上 甌 知佳
2/16 (木)	理 事 長 田中 綜二	「禱を受けた者として」 コロサイ3：12-16	学院宗教主任 古川 敬康	大学講師 文屋 典子

各校の主な宗教教育

<p>大学・大学短期大学部</p> <p>A．チャペル（学校礼拝）</p> <p>B．特別行事</p> <p>（1）春季ミッションデー            大学短期大学部：5月17日（火）～18日（水）            大学：5月20日（木）</p> <p>（2）秋季ミッションデー            大学短期大学部：11月8日（火）～9日（水）            大学：11月10日（木）</p> <p>（3）クリスマス礼拝            12月15日（木）13:30～15:30            九州厚生年金会館グランドホール</p> <p>（4）送別礼拝            大学短期大学部：1月31日（火）            大学：1月19日（木）</p> <p>C．キリスト教学及びキリスト教的人間観（授業）</p> <p>D．その他の宗教活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．聖歌隊</li> <li>2．ハンドベルクワイヤー</li> <li>3．英会話とバイブルクラス（ECBC）</li> <li>4．キリスト者学生の会（KGK）</li> <li>5．クリスチャン学生の会</li> <li>6．キリスト教センター諸集会</li> <li>7．朝の集い（早朝祈禱会毎月1，15日）</li> </ol> <p>幼稚園</p> <p>5月6日 母の日礼拝            6月7日 花の日礼拝            19日 父の日礼拝            9月16日 敬老礼拝            11月25日 収穫感謝礼拝            12月9日 クリスマス礼拝            14日 クリスマス祝会            18日 シオン山教会クリスマス合同礼拝            参加</p>	<p>中学校・高等学校</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．礼拝            クラス礼拝、放送礼拝</li> <li>2．諸集会活動            中学：1・3土曜日 小羊会（祈禱会）            金曜日 宗教（汀会）委員会            高校：1・3土曜日 早天祈禱会            金曜日 宗教委員会</li> <li>3．年間の対外的活動            施設訪問 12月20日「愛の家」            12月21日「託寿館」（南小倉病院）</li> <li>4．ミッションマンス（特別伝道月間）            中学：6月2日、6日、16日、23日、30日            高校：10月5日、12日、19日、24日、</li> <li>5．ミッションウィーク（特別伝道週間）            中学：10月26日（水）～10月28日（金）            高校：6月8日（水）～10日（金）</li> <li>6．サマーキャンプ（中高合同）            7月21日（木）～23日（土）            住吉浜リゾートパーク</li> <li>7．クリスマス礼拝            中学：12月20日（火）            高校：12月17日（土）</li> <li>8．6年生のための特別礼拝            2006年2月27日（月）            ロウ記念講堂</li> </ol> <p>第一学寮</p> <p>A．主日曜礼拝            B．水曜日特別夕拝            クリスマス礼拝12月15日（木）            礼拝後祝会            C．毎日の食事時の小礼拝</p>
--	---

4. 学生・生徒・園児

(1) 志願状況

2005(平成17)年5月1日現在

学 校 名		募集人員	入学志願者数		実入学者数		
			推薦	一般	推薦	一般	
大 学	保 健	看護学科	80	67 (6)	388 (6)	54 (6)	49 (1)
		3年次編入	10		4		1
	福 祉 学 部	福祉学科	140	74 (9)	182 (3)	73 (9)	64 (3)
		3年次編入	10	1	3	1	3
		栄養学科	100	42 (5)	217 (3)	42 (5)	68 (0)
		計	340	184 (20)	794 (12)	170 (20)	185 (4)
	人 文 学 部	人文学科	200	37 (5)	168 (5)	35 (5)	52 (2)
		3年次編入	30	1	2	1	1
		計	230	38 (5)	170 (5)	36 (5)	53 (2)
		小 計	570	222 (25)	964 (17)	206 (25)	238 (6)
	累 計		1,186(42)		444(31)		
短 期 大 学 部	生活創造学科	100	64 (3)	40 (4)	64 (3)	24 (2)	
	保育科	150	144 (8)	121 (1)	143 (8)	45 (1)	
	計	250	208 (11)	161 (5)	207 (11)	69 (3)	
	累 計		369(16)		276(14)		
高 等 学 校	一般中学より	90	7	92	7	15	
	西南女学院中学より	104	68		68		
	計	194	167		90		
	中 学 校	160	104		55		
	幼 稚 園	3歳児 35	3歳児	34	1	3歳児	25
		4歳児 20	4歳児	7		4歳児	7
		5歳児 若干	5歳児	1		5歳児	1

【注】( )内は西南女学院高校からの志願者数・入学者数を内数で示す。

大学推薦入試には、AO入試の志願者数・入学者数を含む。

大学一般入試には、社会人入試、帰国子女入試及びセンター試験利用入試の志願者数・入学者数を含む。

大学短期大学部推薦入試には、併設校特別選抜入試及びAO入試の志願者数・入学者数を含む。

大学短期大学部一般入試には、社会人入試の志願者数・入学者数を含む。

1の内7名は満3歳児である。3歳の誕生日が来て入園する。

## (2) 在籍数

学校・学科等		新 入 生	総 数	
			2005(平 17).5.1 現在	2006(平 18).3.31 現在
大 学	看護学科	103	395	390
	3年次編入	1	6	6
	福祉学科	137	605	601
	3年次編入	4	11	11
	栄養学科	110	440	436
	3年次編入	0	0	0
	人文学科	87	413	405
	3年次編入	2	4	4
	計	444	1,874	1,853
大 学 短 期 部	生活創造学科	88	176	165
	保育科	188	387	381
	計	276	563	546
中・高 456年		90	382	374
中・高 123年		55	176	169
幼稚園		49	116	125
合 計		914	3,111	3,067

## (3) 卒業生数

2006(平成 18)年 5 月 1 日現在

2005(平成 17)年度卒業生		累 計	旧制女学校卒業生		累 計
学 校 名	人 員		女 学 校		
幼稚園	43	2,447			2,147
中学校	69	11,722	専門学校 累計(203)	英語科	87
高等学校	160	13,296		生活科	116
大 学 短 期 大 学 部	(英 語 科)				
	生活創造学科	79			
	保育科	196			
	(食物栄養科)				
	計	275	30,043		
大 学	看護学科	97			
	福祉学科	151			
	栄養学科	112			
	人文学科	108			
	計	468			
合 計		1,015	合 計		2,350
総 計 (卒業生総数)				62,064	

(注) 中学校卒業生 69 名の中、内部高校進学者数 64 名

5 . 役員・評議員数 ( 2006(平成 18)年 3 月 1 日現在 )

理 事 ( 理事長 田中 綜二 )

定数 19 名 現員 16 名

監 事 定数 2 名 現員 2 名

評議員 定数 42 名 現員 36 名

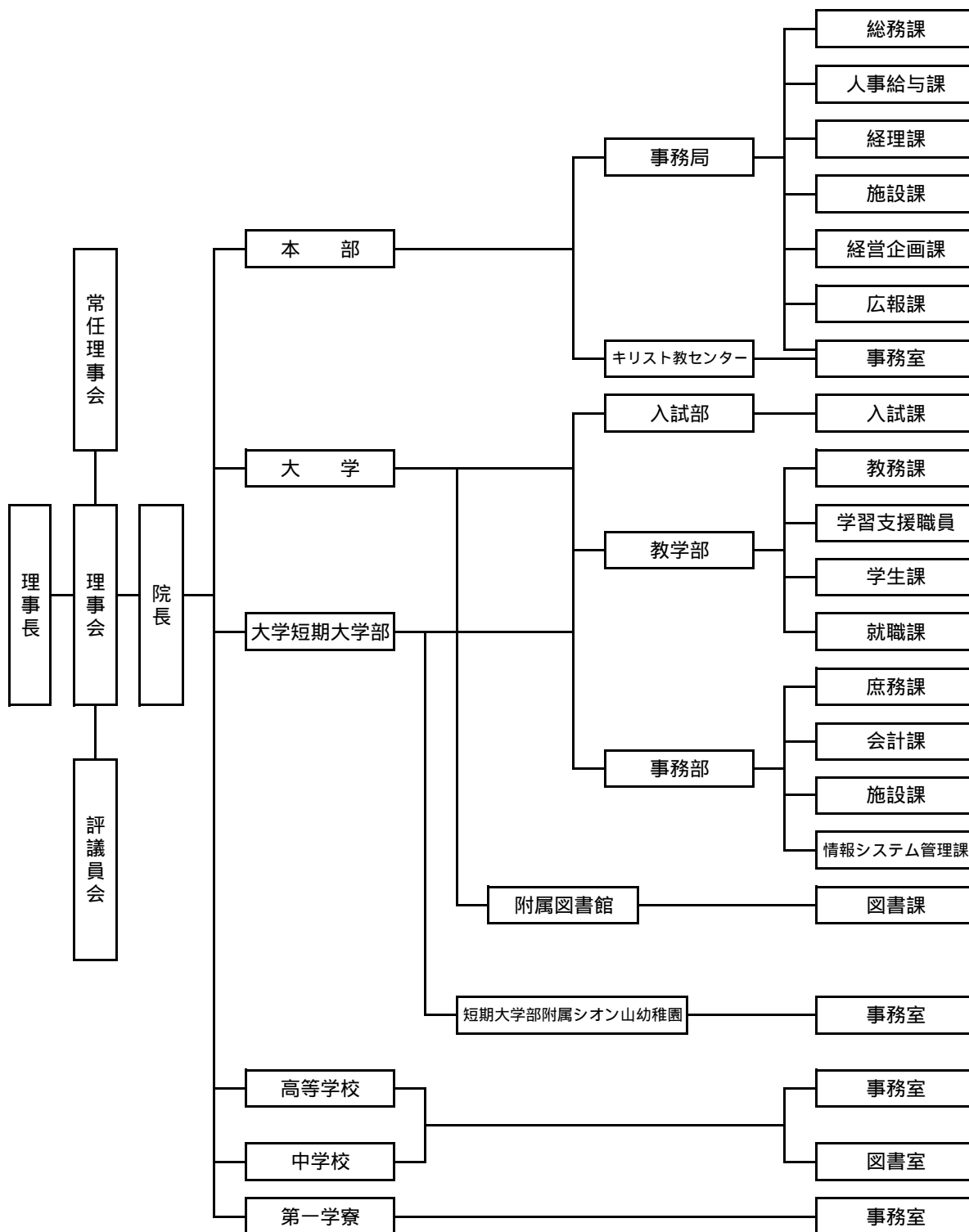
6 . 教職員組織

( 1 ) 教職員数 ( 2006(平成 18)年 3 月 1 日現在 )

( 単位 : 名 )

	教員数	職員数	計
本 部	-	14	14
大学・大学短期大学部	120	63	183
中学校・高等学校	47	4	51
大学短期大学部附属 シオン山幼稚園	9	-	9
第一学寮	-	1	1
計	176	82	258

( 2 ) 学校法人西南女学院の組織図(2006年3月1日現在)



7. 理事会議案及び決議 (2005(平成17)年4月~2006(平成18)年3月)

理 事 会			
第1回	2005(平成17)年4月1日(金)		
	・理事長の選任について	承	認
	・常任理事の選任について	承	認
第2回	2005(平成17)年5月24日(火)		
	・人事について	承	認
	・2004(平成16)年度決算について		
	(1)決算報告	承	認
	(2)事業報告	承	認
	(3)監事による監査報告	承	認
	・2006(平成18)年度大学及び大学短期大学部学納金について	承	認
	・西南女学院職員退職金支給区分及び割合表改正について	承	認
	・西南女学院寄附行為変更(案)について	承	認
	・西南女学院育児・介護休業等に関する規程制定(案)について	承	認
	・西南女学院就業規則改正(案)について	承	認
	・西南女学院大学学則改正(案)について	承	認
	・中・高食堂について	承	認
	・日本バプテスト宣教団土地について	承	認
	・委員会設置について	承	認
第3回	2005(平成17)年5月31日(火)		
	・戸畑C街区高齢者複合施設について	承	認
第4回	2005(平成17)年7月4日(月)		
	・戸畑C街区高齢者複合施設について	承	認
第5回	2005(平成17)年7月20日(水)		
	・戸畑C街区高齢者複合施設について	承	認
第6回	2005(平成17)年8月25日(木)		
	・学校法人西南女学院寄附行為改正(案)について	承	認
	・人事について	承	認
	・戸畑C街区高齢者複合施設について	承	認
	・院長、大学学長、大学短期大学部学長人事について	承	認
第7回	2005(平成17)年9月28日(水)		
	・人事について	承	認
	・2006(平成18)年度予算基本方針(案)について	承	認
	・西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部規則改正(案)について	承	認
	・情報システム管理運用委員会規程制定(案)について	承	認
	・西南女学院情報処理センター規則廃止(案)について	承	認
	・役職手当支給規程改正(案)について	承	認

・西南女学院本部規程改正(案)について	承	認
・西南女学院文書取扱規程改正(案)について	承	認
・学校法人西南女学院個人情報保護に関する規則制定(案)について	承	認
・学生個人情報保護規則制定(案)について	承	認
・学生個人情報保護委員会規程制定(案)について	承	認
・学校法人西南女学院財務書類等閲覧規程制定(案)について	承	認
・西南女学院大学学則改正(案)について	承	認
(1)学則別表第一保健福祉学部栄養学科	承	認
(2)学則第29条(教育職員免許)及び別表第二	承	認
・西南女学院大学履修規程改正(案)について	承	認
・西南女学院大学短期大学部学則改正(案)について	承	認
・西南女学院高等学校学則改正(案)について	承	認
・西南女学院中学校学則改正(案)について	承	認
・名誉教授の称号の贈与について	承	認
・院長選考について	承	認
・西南女学院寄附行為変更について	承	認
・戸畑C街区高齢者複合施設について	承	認

第8回 2005(平成17)年12月6日(火)

・人事について	承	認
・2005(平成17)年度補正予算(案)について	承	認
・2006(平成18)年度中学校・高等学校校納金改定(案)について	承	認
・西南女学院大学紀要規程改正(案)について	承	認
・財団法人日本バプテスト連盟医療団日本バプテスト病院医療機関債購入について	承	認
・日本バプテスト宣教団土地について	承	認
・大学健康科学グラウンドについて	承	認
・西南女学院寄附行為変更(案)について	承	認

第9回 2005(平成17)年12月22日(木)

・人事について	承	認
・西南女学院大学学則改正(案)について	承	認
・西南女学院大学短期大学部学則改正(案)について	承	認
・西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部教員及び助手選考規則改正(案)について	承	認
・大学非常勤講師候補者選考規程改正(案)について	承	認
・西南女学院大学履修規程改正(案)について	承	認
・西南女学院大学科目等履修生規程改正(案)について	承	認
・西南女学院大学聴講生規程改正(案)について	承	認
・院長選考について	承	認

第10回	2006(平成18)年1月20日(金)		
	・大学長・大学短期大学部学長人事について	承	認
	・人事について	承	認
	・副学長の設置について	承	認
第11回	2006(平成18)年2月27日(月)		
	・西南女学院大学学則改正(案)について	承	認
	・西南女学院大学短期大学部学則改正(案)について	承	認
	・西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部規則改正(案)について	承	認
	・西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部会議規則改正(案)について	承	認
	・副学長候補者選考規程制定(案)について	承	認
	・教務部長候補者選考規程制定(案)について	承	認
	・学生部長候補者選考規程制定(案)について	承	認
	・西南女学院本部規程改正(案)について	承	認
	・西南女学院公印管理規程改正(案)について	承	認
	・西南女学院給与委員会規程改正(案)について	承	認
	・役職手当支給規程改正(案)について	承	認
	・西南女学院旅費規程改正(案)について	承	認
	・西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園園則改正(案)について	承	認
	・西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園規程改正(案)について	承	認
	・人事について	承	認
	・西南女学院院長規則制定(案)について	継	続
	・西南女学院理事会業務及び理事会業務委任規則制定(案)について	継	続
	・西南女学院理事会会議規則制定(案)について	承	認
第12回	2006(平成18)年3月3日(金)		
	・副学長人事について	承	認
	・人事について	承	認
	・西南女学院院長規則制定(案)について	承	認
	・西南女学院理事会業務及び理事会業務委任規則制定(案)について	承	認
第13回	2006(平成18)年3月22日(水)		
	・2006(平成18)年度事業計画及び当初予算(案)について	承	認
	・人事について	承	認
	・大学及び大学短期大学部諸規程等の制定、改廃について	承	認
	・2005(平成17)年度給与改定(案)について	承	認
	・監事の交代について	承	認

## 第二部

# 財 務

主な2005年度予算の執行状況(財務の概要)

当期の予算の執行状況について、その概況を報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

(1) 資金収支計算

資金収支計算は、次の目的に基づいて作成しています。

毎会計年度、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容を明らかにする。

当該会計年度における支払資金(現預金)の収入及び支出のてん末を明らかにする。

資金収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

【科目の説明です。】

学生生徒等からの授業料や入学金などです。科目等履修料、聴講料も含まれます。

国や地方公共団体からの助成金です。

翌年度に入学予定の学生生徒等からの授業料や入学金などです。

・長期、短期の貸付金の回収額。  
・特定の目的のために積み立てた預金等を解約した場合の収入額。などです。

収入として計上したが未収入となっているものや前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

土地、建物、構築物を取得するための支出です。

教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために、資金を積み立てるための支出です。

支出として計上したが未払いとなっているものや、前払支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

資金収支総括表

(収入の部)

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,170,927	3,193,196	22,269
手 数 料 収 入	43,786	46,593	2,807
寄 付 金 収 入	71,167	70,432	735
補 助 金 収 入	555,809	570,716	14,907
資 産 運 用 収 入	5,719	7,978	2,259
資 産 売 却 収 入	319,000	319,000	0
事 業 収 入	5,576	5,547	29
雑 収 入	140,893	184,756	43,863
前 受 金 収 入	639,419	670,524	31,105
そ の 他 の 収 入	2,314,012	2,363,383	49,371
資 金 収 入 調 整 勘 定	788,402	825,200	36,798
当年度資金収入合計	6,477,906	6,606,925	129,019
前年度繰越支払資金	858,244	858,244	
収 入 の 部	7,336,150	7,465,169	129,019

(支出の部)

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	2,732,260	2,747,705	15,445
教育研究経費支出	672,741	566,933	105,808
管理経費支出	877,084	846,781	30,303
借入金等利息支出	19,022	18,981	41
借入金等返済支出	335,224	335,224	0
施設関係支出	51,341	56,237	4,896
設備関係支出	76,552	64,718	11,834
資産運用支出	565,877	572,936	7,059
そ の 他 の 支 出	1,363,359	1,452,281	88,922
資 金 支 出 調 整 勘 定	26,751	27,706	955
当年度資金支出合計	6,666,709	6,634,090	32,619
次年度繰越支払資金	669,441	831,079	161,638
支 出 の 部 合 計	7,336,150	7,465,169	129,019

当年度資金収支差額	188,803	27,165	161,638
-----------	---------	--------	---------

\* 上記の金額は千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

なお、以下の表についても同様です。

資金収入合計は予算に比し、1億2,900万円上回りました。  
在学(校)生の授業料等納付金、地方公共団体補助金、次年度入学生からの授業料等前受金が見込みを上回ったことによります。  
また、退職者が見込みを上回ったことによる雑収入(退職金財団及び福岡県私立学校福祉会からの退職資金交付金)が予算を上回りました。

大蔵校地を売却したことによる収入を計上しました。

選択定年制適用による退職者の増加が見込みを上回りました。給与改訂を見送りましたが、人件費全体は予算を上回りました。

教育研究経費が予算を下回ったのは施設の修繕費見直し、情報機器等の賃借料の見直しなどによります。

管理経費支出には社会福祉法人設立に伴う支出が6億5千万円が含まれています。

特定引当資産(大学及び短大の設備費積立金など)を増加させました。

(2)消費収支計算

消費収支計算は、次の目的に基づいて作成しています。

毎会計年度、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにする。

- ・消費収入とは、帰属収入(負債とならない収入)から基本金に組み入れられた額を控除した収入です。
- ・消費支出とは、会計年度中に消費する用役の対価及び減価償却額等の非資金を加えたものです。

消費収支計算について、その主な内容をご報告します。

なお、学校法人会計基準(文部省令第18号)の改正に伴い、2005年度決算からは一定の要件に該当する場合に基本金を取り崩すことが認められることとなりました。その要件とは、諸活動の一部又は全部を廃止した場合 保有する必要がなくなった場合 将来計画を変更した場合 その他やむを得ない事由、です。

西南女学院ではこの要件に該当するものについては「基本金取崩額」を計上しました。

【科目の説明です。】

学校法人が提供した教育・研究等の対価として受け取る収入で、負債とならない収入です。

良好な教育環境を維持するための施設・設備等の額であり、帰属収入から差し引く金額です。

教職員に支払われる給与などです。

学生生徒等の教育研究のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

学校法人が使ったお金または用役に対して支出した金額です。

帰属収入から消費支出を差し引いたものであり、純資産の増加を示します。

今回の学校法人会計基準の改正によりあらたに計上が認められました。

(消費収入の部) 消費収支総括表 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	3,170,927	3,193,196	22,269
手数料	43,786	46,593	2,807
寄付金	71,167	71,691	524
補助金	555,809	570,716	14,907
資産運用収入	5,719	7,978	2,259
事業収入	5,576	5,547	29
雑収入	140,893	184,756	43,863
帰属収入合計	3,993,877	4,080,477	86,600
基本金組入額合計	9,868	6,783	3,085
消費収入の部合計	3,984,009	4,073,694	89,685

科目	予算	決算	差異
人件費	2,669,314	2,680,942	11,628
教育研究経費	918,954	812,783	106,171
(うち、減価償却額)	(246,213)	(246,307)	(94)
管理経費	888,391	857,961	30,430
(うち、減価償却額)	(11,924)	(10,818)	(1,106)
借入金等利息	19,022	18,981	41
資産処分差額	378,829	386,273	7,444
徴収不能額	0	586	586
消費支出の部合計	4,874,510	4,757,526	116,984

帰属収支差額	880,633	677,049	203,584
帰属収支差額比率(注1)	-22.0%	-16.6%	-
当年度消費支出超過額	890,501	683,832	
前年度繰越消費支出超過額	170,382	170,382	
基本金取崩額	904,791	1,097,403	
翌年度繰越消費支出超過額	156,092	0	
翌年度繰越消費収入超過額	0	243,189	

注1 帰属収支差額比率 = 帰属収支差額 ÷ 帰属収入 × 100

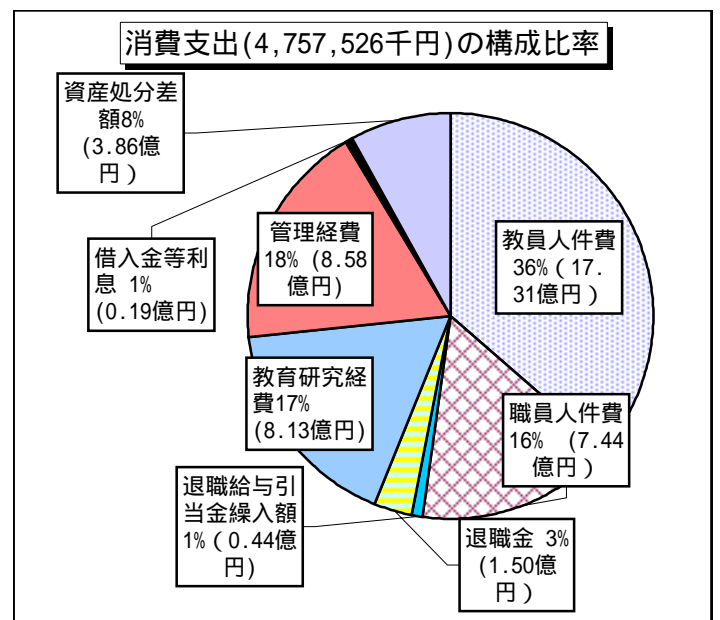
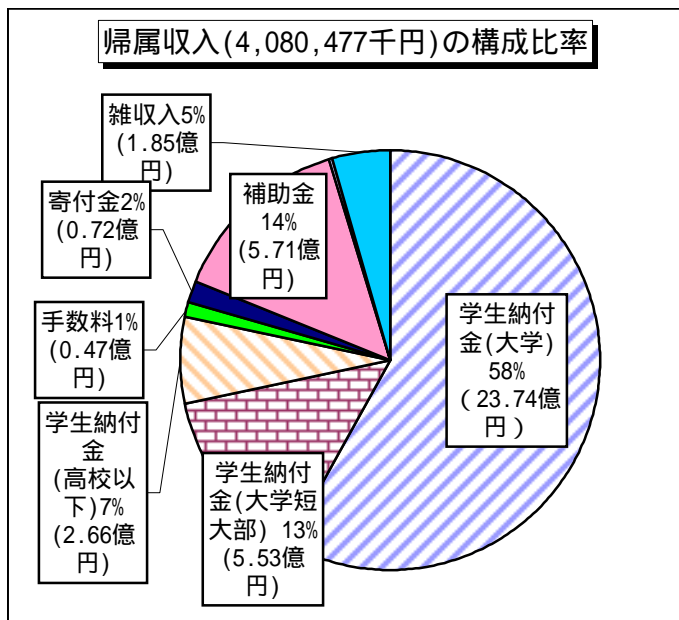
在学(校)生の授業料等納付金、地方公共団体補助金、次年度入学生からの授業料等前受金が見込みを上回ったこと、雑収入(退職金財団及び福岡県私立学校福祉会からの退職資金交付金)が予算を上回ったことより、帰属収入合計は予算を上回りました。学生生徒等納付金が収入(帰属収入)の78.3%を占めています。

選択定年制適用による退職者の増加が見込みを上回ったため、退職金が見込みを上回りました。収入(帰属収入)の65.7%が充てられます。

経費の減により、消費支出の部合計は予算を下回りました。

上記の結果、帰属収支差額は予算に比べ、2億358万円上回り、帰属収支差額比率は5.4ポイント増加しました。

また、当期の消費収支は6億8,383万円の支出超過となりましたが、基本金取崩額が10億9,740万円となりましたので、翌年度繰越消費収支超過額は2億4,318万円の消費収入超過額となりました。



(3) 貸借対照表

貸借対照表とは、年度末における学校法人の財政状態(財産の状態)を表示する計算書であり、資産・負債・基本金及び消費収支差額の項目があります。

- ・資産とは、教育研究活動に使用される学校法人の財産です。
  - ・負債とは、将来返済しなければならない債務です。
  - ・基本金及び消費収支差額は、返済の必要のない学校法人の資金総額(正味財産)です。
- 貸借対照表について、前年度末からの増減の主な理由を報告します。

[科目の説明です。]

校地、校舎、体育館などの建物及び建物付属設備(空調など)の額のことです。

教育研究のために使用される機械設備などの額です。

学生生徒等に貸与している奨学金の額のことです。

特定の目的のために使用する資産のことです。

現金及びすぐに引き出すことのできる預貯金の額のことです。

決算日(3月31日)における退職資金交付額の未収額です。

返済期限が1年以上の借入金のことです。

17年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額の額のことです。

返済期限が1年以内の借入金です。

翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金などの額のことです。

財産的な基盤を確保する額のことです。学校法人を安定的かつ永続的に経営していくために必要な額です。

資産から負債と基本金を差し引いた額です。プラスは収入超過を、マイナスは支出超過を表します。

貸借対照表

資産の部		(単位:千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定資産	10,408,143	11,436,629	1,028,486	
有形固定資産	6,147,215	6,987,869	840,654	
土地	574,678	1,272,508	697,830	
建物	4,066,311	4,191,740	125,429	
構築物	207,916	224,932	17,016	
教育研究用機器備品	305,447	328,210	22,763	
その他の機器備品	28,985	22,392	6,593	
図書	963,878	948,087	15,791	
その他の固定資産	4,260,928	4,448,760	187,832	
電話加入権	4,450	4,450	0	
長期貸付金	86,779	40,002	46,777	
諸引当特定資産	4,143,203	4,377,823	234,620	
出資金	26,496	26,485	11	
流動資産	1,010,642	1,054,660	44,018	
現金預金	831,079	858,244	27,165	
未収入金	171,776	190,286	18,510	
貯蔵品	1,582	1,018	564	
前払金	5,660	4,588	1,072	
立替金	88	27	61	
仮払金	457	497	40	
合計	11,418,785	12,491,289	1,072,504	

有する必要がなくなった校地を売却したことに伴う減少です。

特定引当資産(大学及び短大の設備費積立金)への繰入(4億5,600万円)、奨学金基金への繰入(466万円)などが増加しましたが、社会福祉法人設立のための支出に充てるために施設積立金6億5千万円が減少しました。

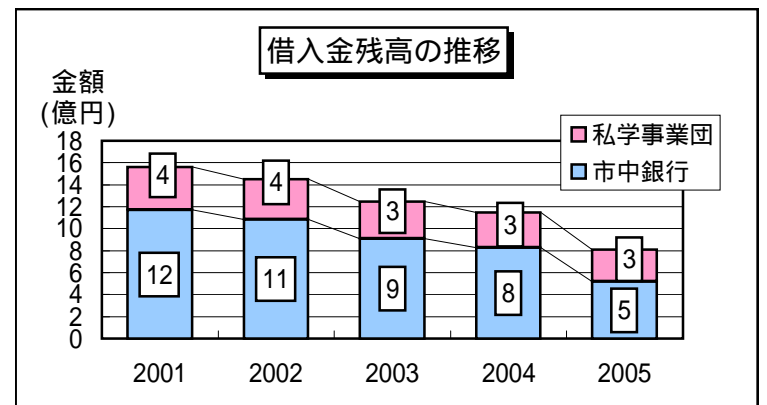
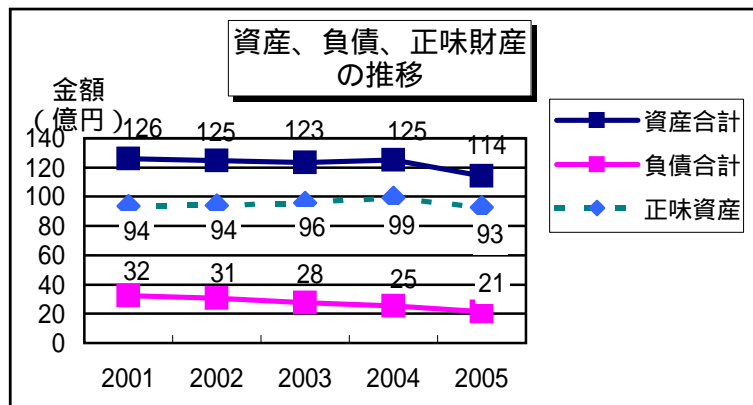
校地の売却に伴い、この校地に係る借入金を一括返済しました。

借入金的大幅な減少により、負債は減少しました。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定負債	1,277,168	1,651,518	374,350	
長期借入金	735,132	1,042,720	307,588	
退職給与引当金	542,036	608,798	66,762	
流動負債	869,984	891,088	21,104	
短期借入金	75,040	102,676	27,636	
未払金	23,117	22,267	850	
前受金	670,524	652,838	17,686	
預り金	79,334	74,270	5,064	
修学旅行費預り金	21,969	39,037	17,068	
計	2,147,152	2,542,606	395,454	
基本金	9,028,444	10,119,064	1,090,620	
消費収支差額	243,189	170,381	413,570	
合計	11,418,785	12,491,289	1,072,504	

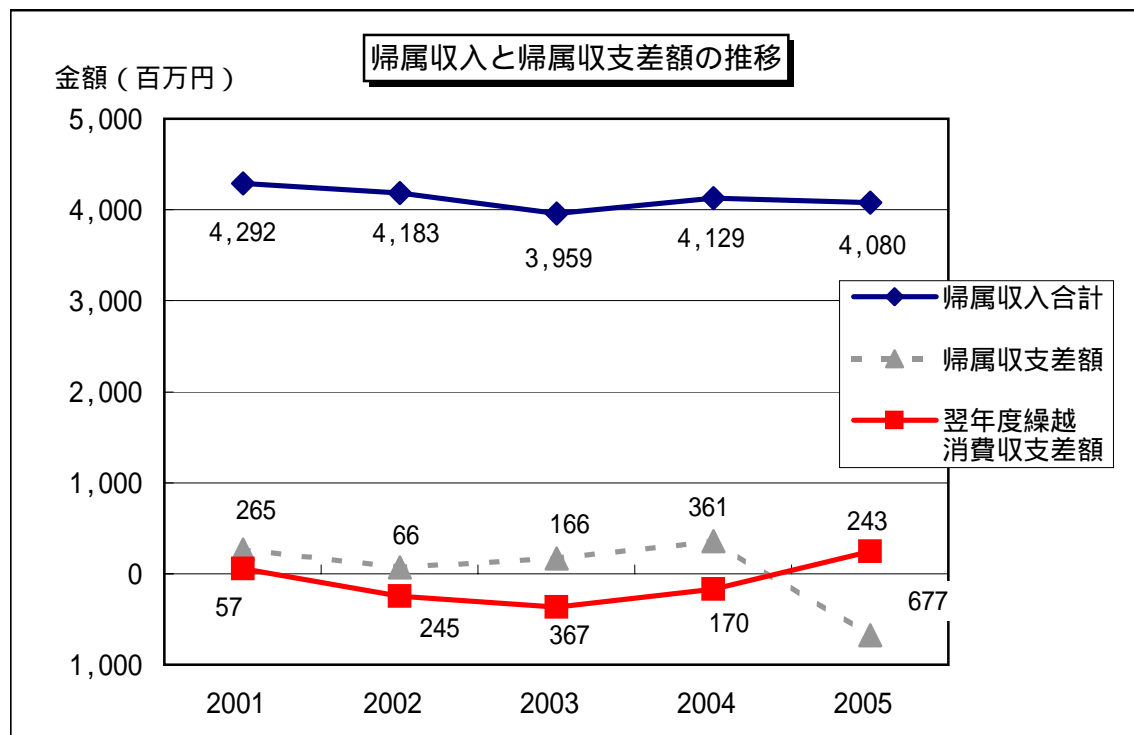
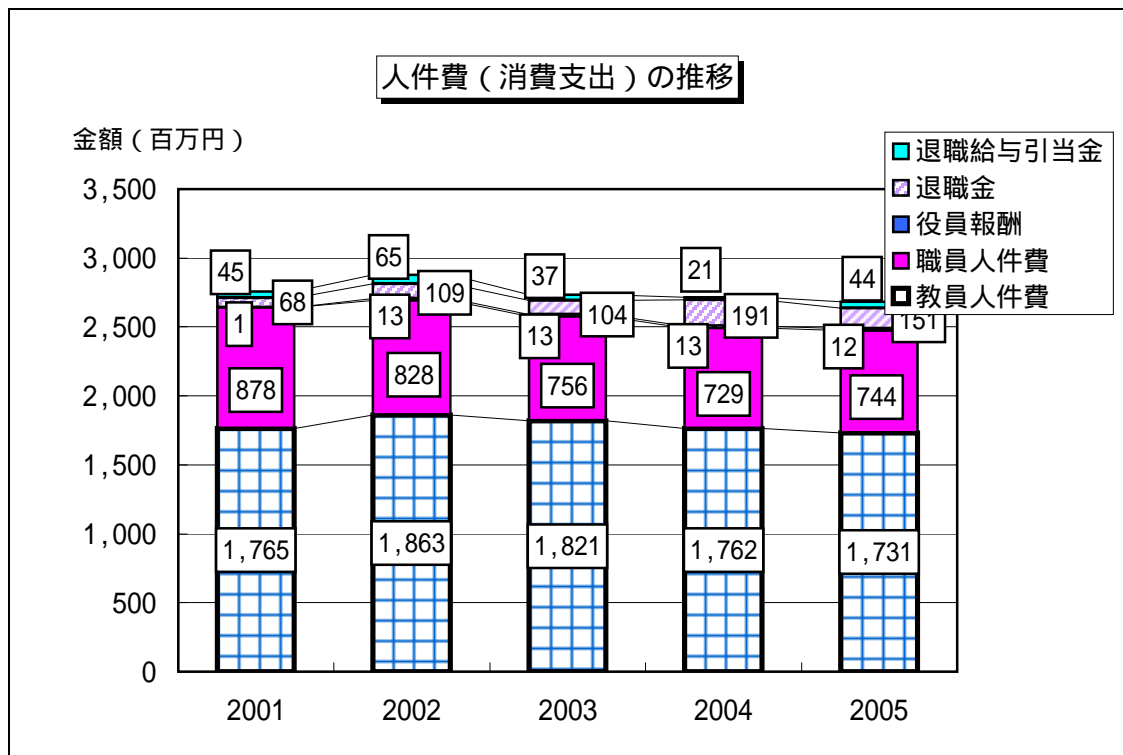
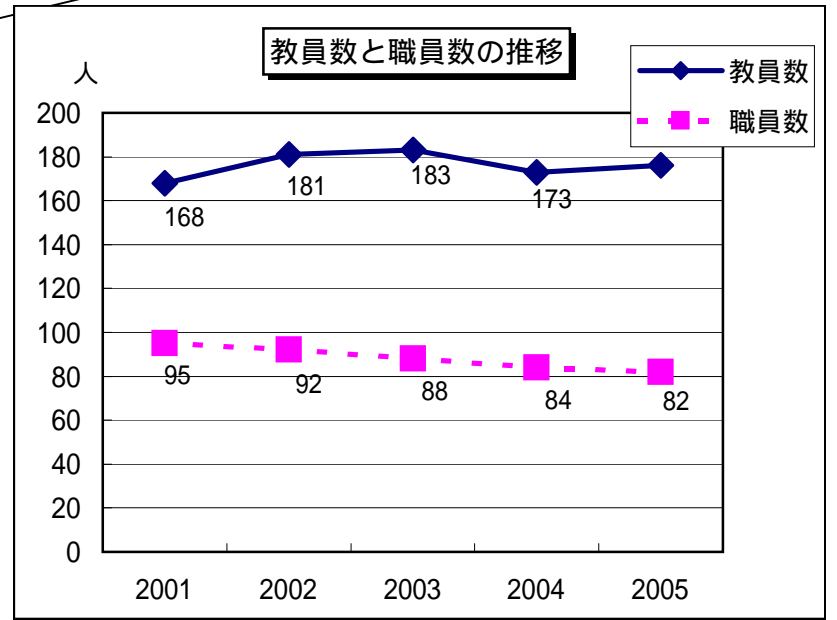
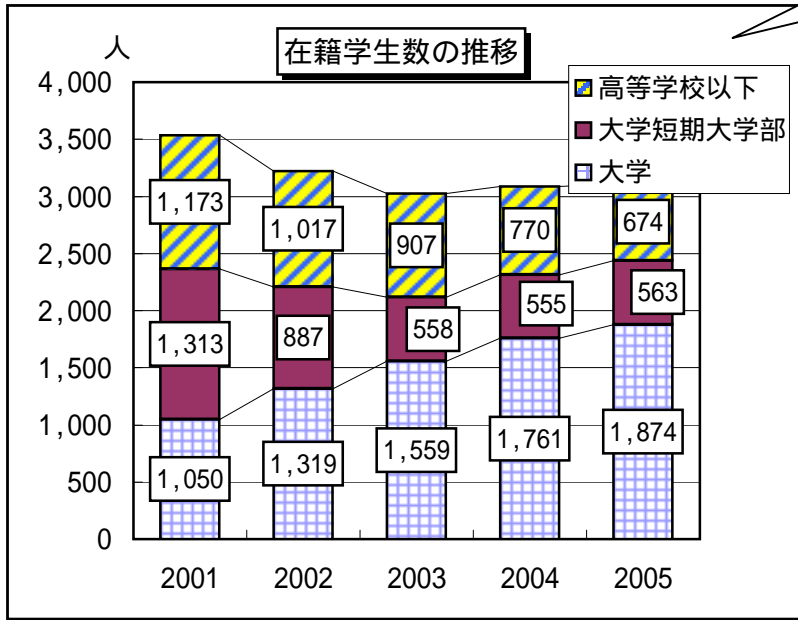
(参考)

正味財産	9,271,633	9,948,683	677,050
正味財産 = 資産 - 負債 (= 基本金 + 消費収支差額)			
減価償却額の累計額	3,244,660	3,054,318	190,342
基本金未組入額	810,172	1,145,396	335,224



(4) 学生数・財務比率などの推移

2002年度に短期大学(2004年度に大学短期大学部に名称変更)の英語科、食物栄養科を、大学の人文学部人文学科(入学定員200人)、保健福祉学部栄養学科(入学定員100人)に改組しました。



帰属収支差額 = 帰属収入 - 消費支出